

# 立川

5

立川と語ろう 立川に生きよう

May 2012

Écoutez Bien Vol.30 No.330

国立音楽大学卒業生三代（柏町）



# 「立川の玄関」



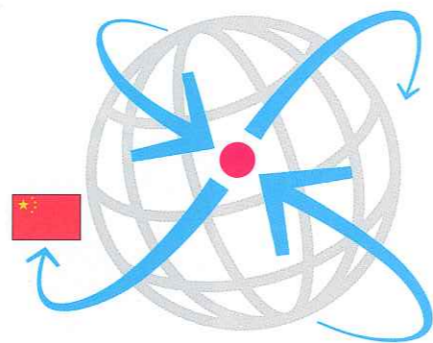
中央線の下りが新宿駅を発車する。  
中野駅よりも吉祥寺駅よりも多い乗降客数。それが立川駅だ。  
1日15万人強の利用客。  
東西南北往來の玄関口がまさにここ。

次の波は何分ですか?と聞けば、勝又駅長が即答した。  
東改札前に立ってもらおう。  
果たして、改札口から溢れ出て来る人の波。  
構内の安全は、この制服に護られているんだな。

# 香港から来た小説家?

## 日本の文化、大好きです!

2012年1月、屋根の葺き替え工事をしていた古民家園(柏町)。中を案内してもらいながら、1人の女性が一生懸命メモをとっている。香港から来たジェシカ・ウォンさんだ。



—ジェシカさんは小説を書いていらっしゃるとうかがいました。

**ジェシカ** はい。書いてます。主人公は山梨県生まれです。山梨県のどこかはわからない。でも富士山は日本のシンボルだから、外国人にはわかりやすいですね。

—山梨県? 立川じゃない。

**ジェシカ** はい(笑)。山梨はビューティフルマウンテーン、ビューティフルリバー、湖もありますねえ。モア ロマンティック!

—それはもちろんそうですね。では立川へは?

**ジェシカ** 立川はいいところです。便利ですね。小説を書くにはいろいろな取材や資料が必要です。そのために立川に泊まってあちこちに行きます。以前2年ほど新宿に住んで英語教師をしていました。新宿はもっと便利ですが、立川の方が治安がよくて落ち着きます。東京の都市部と山梨県のような自然豊かな場所との中間にあって、立川は都会と田舎が共存しているような印象です。香港にはない、住宅地の中の静かな細い路地が私は好きです。

—ここ(古民家園 小林住宅)もすてきでしょう?

**ジェシカ** わあ〜、すばらしい、これ。

—江戸時代からの建物ですよ。茅葺きで、昔の生活がわかるでしょう?

**ジェシカ** ほんと。すてきですね〜。

—今はどんなことを調べたり取材していらっしゃるのですか?

**ジェシカ** こうした建物もそうですが、日本の物語や怪談、俳句、歴史を調べています。子どもたちの遊び歌も。

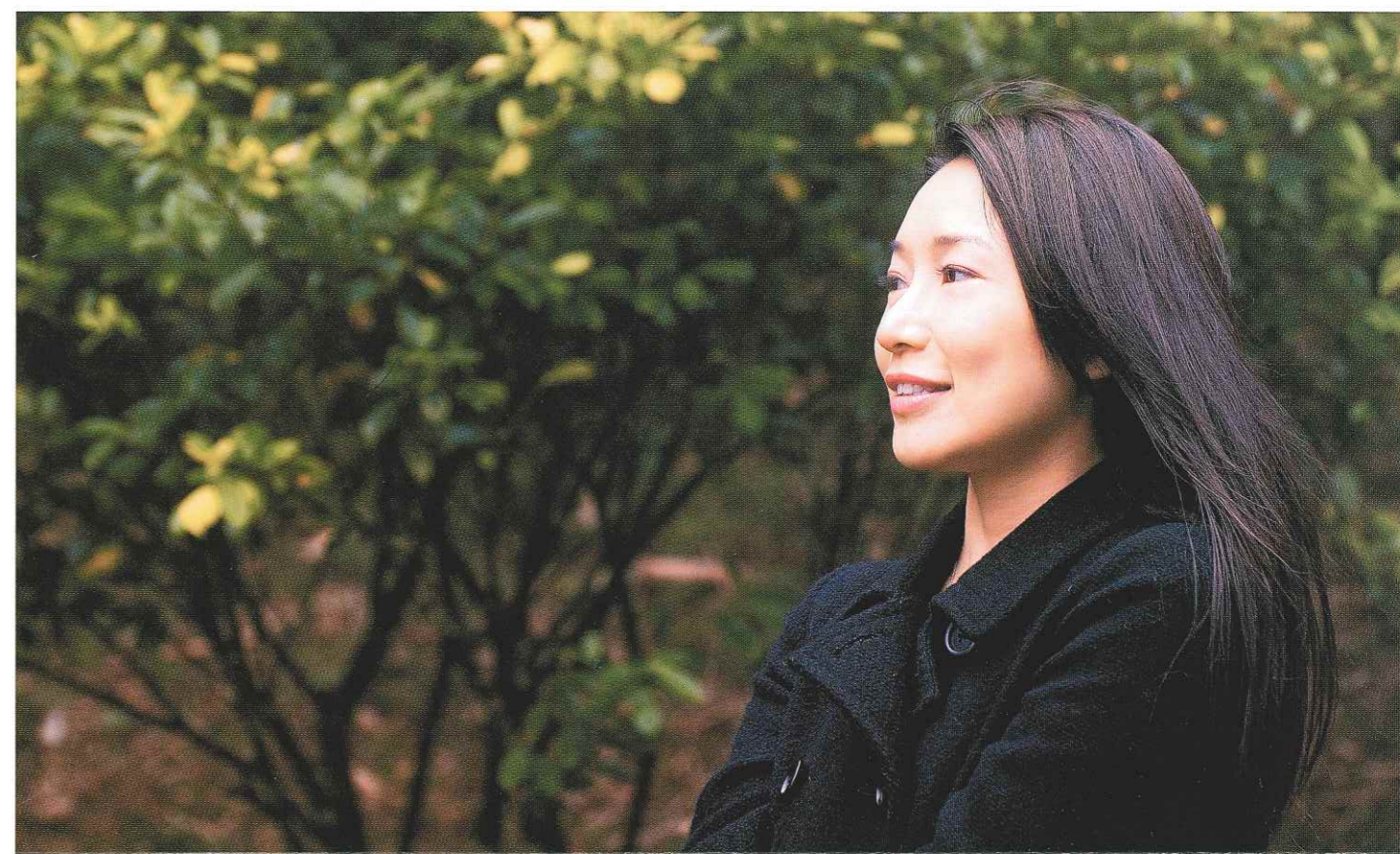
—今の子どもはゲームでしょう。

**ジェシカ** それは、いらな〜い(笑)。昔の遊び歌、子どもたちが遊びながら歌うタイプの歌を探しています。他に日本のジョークも調べています。日本の言葉は面白いですね。同じ発音で意味の違う言葉がありますね。

—たくさんありますね。山梨や立川以外にもどこかへ行かれたのですか?

**ジェシカ** 小説

のために京都行きました。伊勢神宮、高野山、伊賀の忍者の博物館にも行きました。遠かったあ。けど面白かったですね。忍者の服とか忍者の道具とか。忍術は興味深い



です。

—忍者? 忍者博物館が小説に必要なんですか?

**ジェシカ** ふふ。秘密です。でもね、日本はちょっとミステリアス。神秘的なこと、わんさか。結婚式は神社。神社は結婚式ばかりですね。神社か教会。でもお葬式はお寺です。これ面白い。

—そうですね。外国の方には神秘的に映るのかな。

**ジェシカ** 日本人は日本の自然と伝統を大切に守っています。これは感心します。きれいな自然の恵みに生きているという印象です。小説の舞台に選んだ山梨県は、東京から2、3時間で行けます。大都会から短時間で素晴らしい自然に触れることができます。それは不思議にさえ感じます。香港にはそんな所ありませんからうらやましい。

—山梨県は幽玄にさえ感じますよね。ところで、日本を舞台に選んだ小説を通して、ジェシカさんは何を伝えたいのですか?

**ジェシカ** 東方のアイデア(思想)を世界に伝えたい。日本と中国のアイデア。またそ

れは日中の友好にも役立つのではないかと考えています。日本の文化には洗練された感じが溢れています。私がかつて他の文化には、それが滅多に感じられない。日本に来て日本の文化を知れば知るほど、そこに中国の文化を見いだすことがあって、例えば日本の古いお寺には唐朝の中国を想起させるものもありました。逆に、今、香港に日本の文化が広まっています。その交流が面白いですね。アニメはもちろんですが、フードビジネス。日本食のお店は香港にたくさんあります。立川にもある定食屋さん、知ってますか(笑)?

—定食? あるんですか?

**ジェシカ** ありますよ〜(笑)。おいしいです〜。—日本と同じメニューなのかな? 日本食好きなんです。

**ジェシカ** 日本の料理は、外国の料理に比べるとシリアス。とても繊細で丁寧な味がします。日本人はいつも相手の気持ちを考える。この真心はとても素晴らしいと思います。それと日本人は真面目。私は勤勉な日本人の国民性が好きです。ファストフードの

店員さんとも一生懸命ですね。「いらっしゃいませ!」「ありがとうございます!」あれは他の国の接客とは全然ちがう。

でも日本人はちょっと働き過ぎかも。みんなストレスを感じているように思います。外国では1年間に2〜3回旅行ができる休みが取れます。ゆっくり休んで欲しいです。—ジェシカさんの日本語はとてもわかりやすいですね。どこで覚えるのですか?

**ジェシカ** ちびまる子ちゃん〜。ちびまる子ちゃんのドラマをスマホで観て、覚えています。「友蔵 心の俳句」(笑)。私、本当に日本の文化が好きです。

—小説はいつ書き終わるのですか?

**ジェシカ** 秘密です(笑)。でも、この小説書き終わったら、次に弘法大師のこと書きたいと思っています。外国人は弘法大師のことあまり知らない。成田山のご本尊は弘法大師が謹刻された、知ってますか?

—本当にいろいろなこと、よくご存知ですね〜。

**ジェシカ** 書いてありましたよ、成田空港の外国人向けフリーペーパーに(笑)。

# 浅田次郎さんと二十分

「ゴキドギキの時間でした」

立川市のお隣日野市にお住まいのどとか。

二月二十四日、応現院文化講演会終了後にお話をうかがった。



浅田 低迷していることの方が、はるかに大きい。あるいは、本が読まなくなったという現象の方が、はるかに大きい。本屋に並ぶ新刊は多いのに、本は読まれなくなりまじたね。なぜでしょう。

浅田 読書以外にやるのが多くなったということでしょう。電車に乗ると殆ど人は携帯を見ている。本を読んでいる人は殆どいなくて、携帯を見ている。で、携帯を見ている人はあの携帯で本を読んでいるかというところ、それは殆どいない。ゲームやっているかメール打っているか。つまり他にやることなんだよ。

読書というのは、本来自分の知識、教養を高めるべきものであるんだけど、これは建前だな。本当は本を読むしかやることがないから本を読む。

浅田 先生はすごい読書家ですよ。

浅田 うん。僕らの時代には本でも読むしかなかったんだよ。僕らの頃にはコンビニがあるわけじゃないし、ゲームがあるわけじゃない。テレビだって十一時になれば終わってしまう。だいたい学生下宿にはテレビもなかった。そう考えれば、本を読むしかなかったという大変幸福な時代だった。

だから一概に、今の若い人たちが本を読まなくなったのは彼らの責任かというところ、それは基本的には社会全体の仕組のせいだと言える。僕らは本でも読むしかなかったけれど、今の人は進んで読まなければならぬ。他の興味を排除して本を読まなければならない。その現象は大人も同じ。

なるほど。でも今さら昔に戻すわけにもいきませんよ。

浅田 僕も酒を一滴も飲まないけれども、実は小説家で酒を飲まない人は多いんだ。これはかわいそうな話で、つまり若い時にそういう時間を削っていたんだ。僕だってそうだよ。酒って飲んだことがない。これを飲んだら今

浅田 やっぱり自分をワープさせなきゃだめ。ものを作り上げる時には。

客観的に見る……僕は川端(川端康成さん)みたいな書き方に憧れたんだけどね。なんでも客観的に冷たく見えていく方法もあると思っただけだけれども、やっぱり自分にはそれだけの才能がないなど。その方法であんなに立派な作品を書くだけの才能がね。だから僕は完全に放り込んで、その中で書いていくしかない。

浅田 肩、こりませんか。

浅田 そうですね。

浅田 僕も酒を一滴も飲まないけれども、実は小説家で酒を飲まない人は多いんだ。これはかわいそうな話で、つまり若い時にそういう時間を削っていたんだ。僕だってそうだよ。酒って飲んだことがない。これを飲んだら今

浅田 僕も酒を一滴も飲まないけれども、実は小説家で酒を飲まない人は多いんだ。これはかわいそうな話で、つまり若い時にそういう時間を削っていたんだ。僕だってそうだよ。酒って飲んだことがない。これを飲んだら今

浅田 僕も酒を一滴も飲まないけれども、実は小説家で酒を飲まない人は多いんだ。これはかわいそうな話で、つまり若い時にそういう時間を削っていたんだ。僕だってそうだよ。酒って飲んだことがない。これを飲んだら今

浅田 僕も酒を一滴も飲まないけれども、実は小説家で酒を飲まない人は多いんだ。これはかわいそうな話で、つまり若い時にそういう時間を削っていたんだ。僕だってそうだよ。酒って飲んだことがない。これを飲んだら今

浅田 僕も酒を一滴も飲まないけれども、実は小説家で酒を飲まない人は多いんだ。これはかわいそうな話で、つまり若い時にそういう時間を削っていたんだ。僕だってそうだよ。酒って飲んだことがない。これを飲んだら今

浅田 全くと先行き不透明でね。流れからいったらいずれあのようにならっていくのだからと誰も想像するんだけど、実は昨日今日言われ始めた話じゃない。もう二十年も前から言われているんだよね。その動きも具体的にあった。僕は自分の著作については全部電子書籍化を認めているんだけど、それによってどのくらい読まれていくか自分で把握できる。しかし殆ど数字が出ていない。最近になっていくらか増えたかとは思いますが、まあ、スマホの使用頻度を考えたら、読まれている本の数とは比べものにならない。世の中が騒いでいる程電子書籍の利用は伸びていないというのが実感だね。

浅田 ほとんど影響ない。むしろ景気によって本の売り上

浅田 ほとんど影響ない。むしろ景気によって本の売り上

浅田 ほとんど影響ない。むしろ景気によって本の売り上

浅田 ほとんど影響ない。むしろ景気によって本の売り上

浅田 ほとんど影響ない。むしろ景気によって本の売り上

浅田 ほとんど影響ない。むしろ景気によって本の売り上

浅田 ほとんど影響ない。むしろ景気によって本の売り上

浅田 僕も酒を一滴も飲まないけれども、実は小説家で酒を飲まない人は多いんだ。これはかわいそうな話で、つまり若い時にそういう時間を削っていたんだ。僕だってそうだよ。酒って飲んだことがない。これを飲んだら今

浅田 僕も酒を一滴も飲まないけれども、実は小説家で酒を飲まない人は多いんだ。これはかわいそうな話で、つまり若い時にそういう時間を削っていたんだ。僕だってそうだよ。酒って飲んだことがない。これを飲んだら今

浅田 僕も酒を一滴も飲まないけれども、実は小説家で酒を飲まない人は多いんだ。これはかわいそうな話で、つまり若い時にそういう時間を削っていたんだ。僕だってそうだよ。酒って飲んだことがない。これを飲んだら今

浅田 僕も酒を一滴も飲まないけれども、実は小説家で酒を飲まない人は多いんだ。これはかわいそうな話で、つまり若い時にそういう時間を削っていたんだ。僕だってそうだよ。酒って飲んだことがない。これを飲んだら今

浅田 僕も酒を一滴も飲まないけれども、実は小説家で酒を飲まない人は多いんだ。これはかわいそうな話で、つまり若い時にそういう時間を削っていたんだ。僕だってそうだよ。酒って飲んだことがない。これを飲んだら今

浅田 僕も酒を一滴も飲まないけれども、実は小説家で酒を飲まない人は多いんだ。これはかわいそうな話で、つまり若い時にそういう時間を削っていたんだ。僕だってそうだよ。酒って飲んだことがない。これを飲んだら今

浅田 僕も酒を一滴も飲まないけれども、実は小説家で酒を飲まない人は多いんだ。これはかわいそうな話で、つまり若い時にそういう時間を削っていたんだ。僕だってそうだよ。酒って飲んだことがない。これを飲んだら今

浅田 僕も酒を一滴も飲まないけれども、実は小説家で酒を飲まない人は多いんだ。これはかわいそうな話で、つまり若い時にそういう時間を削っていたんだ。僕だってそうだよ。酒って飲んだことがない。これを飲んだら今

えくてびあんの輪

えくてびあんはリストのお店にあります。

今月は 緑町・泉町・西砂町・一番町・上砂町・砂川町・柏町  
幸町・国分寺西町・若葉町・栄町・高松町 のお店です。

- 緑町 花みどり文化センター.....528-1751  
昭和天皇記念館.....540-0429
- 泉町 ハウジングワールド立川.....527-1321  
東京消防庁 立川消防署.....526-0119  
Café はあもにい.....512-7810
- 西砂町 パティスリー プルミエール 531-4835  
パン工房ゼルコバ.....560-4544
- CHINESE DINER 陶桃.....531-3100
- fresh shop スーパーはしもと 536-2331
- JA 経済センター 立川店.....536-1824  
JA 東京みどり 立川支店.....536-1821  
陶工房 己流庵.....537-6102  
たましん 砂川支店.....535-4411  
BREAD&Sweets マニシェール 537-2202
- 貿易風.....534-6541  
山梨中央銀行 立川支店.....536-0871  
超こってりらーめん パワー軒 535-1665  
ペーカリー リオンドール.....535-4882  
ピーコック 玉川上水店.....538-3861  
菅家医院.....536-4602  
うなぎ専門店 うなちゃん.....536-6240
- 幸町 立川農産物直売所.....536-2439  
いなげや 立川幸店.....537-1820  
たましん 幸町支店.....535-5311  
中華レストラン SANFUJI 536-3813  
西武信用金庫 幸町支店.....537-3101  
お米屋さん 大黒屋.....536-0851  
江戸前・富山の魚と酒 緑寿司 536-4800  
至誠キートンホーム.....538-2323  
とんかつ・割烹 かつ亭.....535-4611  
ドゥ製法ハム・ソーセージ・ホフ工房 535-5009  
和洋菓子 たちはな.....537-0347  
BS タイヤショップ 佐藤商会 537-0912  
在宅療養支援診療所 立川在宅クリニック 534-6964  
古楽の小屋 ロバハウス.....536-7266
- fermata.....534-3334
- ふとんの青木寝商.....536-6833  
レストラン サラ.....534-0602  
リラ美容室.....536-3048  
浅見内科医院.....537-0918  
スーパー ヤオコー.....538-1711  
生鮮館 和光 立川店.....538-3121  
まんまる助産院 ひまわりハウス 534-9877  
ありた整骨院.....534-1622
- 栄町 たましん 栄町支店.....536-9711  
いなげや 立川栄町店.....523-7201  
ニュースサービス日経 立川中央 522-4507  
チーズ王国 本社.....513-4101  
彩食中華 須崎.....507-0981  
手作りパン工房 Bonheur~ボヌール~ 536-3207  
FUKUSHIMAYA 立川店 534-1700  
相模屋酒店.....536-2476  
メンズカットヤザワ.....536-8738  
森田接骨院.....535-6240
- 高松町 丸助青果店.....522-3542  
B3+ ギャラリーウエルメイド 548-3203  
米穀・食料品 横町屋.....522-2609  
中華料理店 太幸苑.....527-0906

jorakugajo

真如苑提供番組《常我浄》

スカイパーフェクTV：216ch  
マイ・テレビアナログ：11ch  
デジタル：111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

街の話題

春です!花です!  
イベントいっぱい。

①「フラワーフェスティバル2012」開催

国営昭和記念公園では、春の行楽シーズンにあわせて、今年も3月24日(土)~5月20日(日)まで「フラワーフェスティバル2012」を開催。チューリップ、ポピーはもちろん他にも色鮮やかな春の花々を大パノラマで楽しめる。さまざまなイベントも同時開催され、家族で春を満喫できそうだ。



② 第2回 アートプラットフォームたちかわ

5月4日(祝)~5月6日(日)11:00~17:00(最終日は16:00まで)。場所は立川市市民会館市民ホール。日常がアーツ空間に大変身する!「第2回アートプラットフォームたちかわ」は、アート展示、販売、ワークショップが行われる楽しいイベント。家族で見に行くだけでも楽しめそう。今回は陶器カップに絵付けしたり、張り子ちゃんにペイントしたり、エッグアートを体験したり。ただしこのワークショップには事前申込が必要。締め切りは4月25日(水)。定員になり次第締め切りなのでお急ぎを。お問い合わせ先:(公財)立川市地域文化振興財団 アーツWS「アートプラットフォーム」係 TEL 042-526-1312 (月~金 9:00~17:00)



やっぱり面白い「江戸」

国文学研究資料館 展示「江戸名所と風俗画」

この展示は、都市の景観表現を、そこに生活する人々、特に職人に光をあてつつ考えてみようとするもの。国文研所蔵品だけでなく、館外からの資料も豊富におもしろい展示となっている。5月6日まで開催中。お休み 日曜・月曜、4月30日(月)、5月3日(祝)、5月4日(祝) ※5月5日(祝)、5月6日(日)は開催 開催時間 10:00~16:30(入室は16:00まで) 特別鑑賞料 300円 高校生以下無料

江都名所図会 国文学研究資料館蔵



第五回新選組書展 開催中

新選組のふるさと歴史館(日野市)

日野市役所近くにある新選組のふるさと歴史館では、毎年、新選組を象徴する「誠」を課題にした書展を開催している。今年も全国から多数の応募があり、最優秀の新選組大賞には横浜市の高校3年生が選ばれた。会期を分けて全作品を展示するのも、この書展の特色。表情ある書に囲まれると、まるで皆さんの人の中にいるような気がしてくる。この模様は、多摩てばこネット「まちの達人」コーナーに掲載中。



新選組大賞  
横浜市 神奈川県立  
市ヶ尾高校3年  
飯田美紗子さん

不思議・立川の空(続)

雲もきれい!

2月号からお届けしている「立川の空」情報。環天頂アークが現れたり、彩雲、日暈に荘厳されたり立川の空。あまりいいお天気に恵まれなかった3月。それでも上空には不思議がひろがっていた。写真はいずれも柴崎町からの撮影。日暈ばかりでなく、雲も美しいのが立川だ。



3月5日雨上がりの空 3月16日の空

リンクしてます  
「農ウオーク」と「産直レシピ」

検索!「多摩てばこネット」

立川観光協会では「農ウオーク」と題した4コースの立川ルートマップを紹介。西砂、砂川、玉川上水、西立川の農作物の特色を織り交ぜた、いずれもユニークなコース。パンフレットは立川観光協会HPに掲載。または立川市内の4つの農産物直売所でも配布されている。産直農産物のレシピは、えくてびあん姉妹サイト「多摩てばこネット」のレシピページとリンク。「Bettyの小部屋」コーナーにはレシピのきれいな写真集も。忙しい主婦必見のパパッとレシピ、続々更新中!



えくてびあんの通う店

柴崎町で2つの話題

えくてびあんの事務所は柴崎町。ランチには事欠かない。おいしいお店がいっぱい。その中から2店をご紹介します。モノレール立川南駅に近い「串揚げ割烹 トントン」は今年創業25年。お味も量も満足満足。写真は薬膳カレー。看板メニューのトントン膳は、刺身、ポークソテー、小鉢、小ざるうどんが麦飯とお味噌汁と一緒にできて、本当に大満足。

もうひとつの話題は、トークスペース。全部手作りのお弁当が大人気。パンも焼きたて、ふ〜わふわ。金〜日曜日が休みだが、ある土曜日、店の中で一生懸命パンを作っている!聞けば、なんと石巻に送るパンを焼いているのだとか。毎月1〜2回こうして送り続けているそう。毎日のようにお弁当を買っていたけど今まで知らなかった〜。



トントンの薬膳カレー トークスペースで

予告!「別冊えくてびあん FMたちかわ特集」

南口をご紹介

FMたちかわ アレアスタジオを中心に、立川駅南口界隈をマップ入りで紹介! えくてびあんが通う店、えくてびあんが受け取れる店などお役立ち情報満載! 5月11日発行予定。お近くのえくてびあん配布店で。



表紙はFMたちかわ社長

来館数 5万人突破!

南極・北極科学館

3月29日午後1時頃、南極・北極科学館の来館数が5万人になった。記念すべき5万人目のお客様は川崎市多摩区からいらしたご一家。拍手に出迎えられて瞬間ビックリ。でもその後は、国立極地研究所の白石所長からプレゼントを手渡され、笑顔でゆっくり見学。南極・北極科学館はGW中、5月3日、4日、5日は特別開館。サプライズイベントもあるそう!

白石所長が南極大陸を直々に説明

おじゃましま〜す! [3]

人形の秀光 立川本店

日本の美です

五月です。お節句です。日本の美です。古来男児の初節句に兜や鎧を飾るのはお守りの意味があるのだとか。それならば、より強そうなものと思うのが人情でしょう。本物そっくり1つひとつ手作りの秀光さんの兜や甲冑。本当に魅入ってしまいます。秀光さんでよくわかったこと。こちらはお人形を創って売っているだけじゃない。日本の伝統や歴史に関する豆知識が詰まっている。日本の竜は爪が3本だってご存知でした? 4本あったら日本製ではないのだそう。キラキラ輝く金箔の京甲冑がすごい! と思っていたら、江戸甲冑、その金箔の上に漆を塗ってキラキラさせない。それが江戸の粋だと教えてもらいました。伊達政宗の兜には三日月の飾りがついています。左右対称ではない斬新なデザインが日本には昔からあったんですね。夏にはお雛様の製作が始まるのだとか。またおじゃまします!



立川市砂川町2-41-8 TEL 042-534-6300  
5月5日までは毎日営業 10:00~19:00  
5月6日以降10月31日まで 土、日、祝日は休み



表紙の人

和田弘子さん、和田朋子さん、和田愛弓海さん(国立音楽大学 講堂にて)

弘子さんは教育音楽学科 専攻科を1959年に、朋子さんは器楽学科ピアノ専攻を1986年に、そしてこの春、愛弓海さんが演奏学科鍵盤楽器専修を卒業されました。52年の歴史を誇る「つくし音楽教室」は弘子さんが初代。すでに国立音楽大学に200人くらいの生徒を進学させているそうです。すごい音楽一家、お住まいは千葉県です。今回は3月19日(ミュージックの日)、卒業式に撮影させていただきました。



かたこと

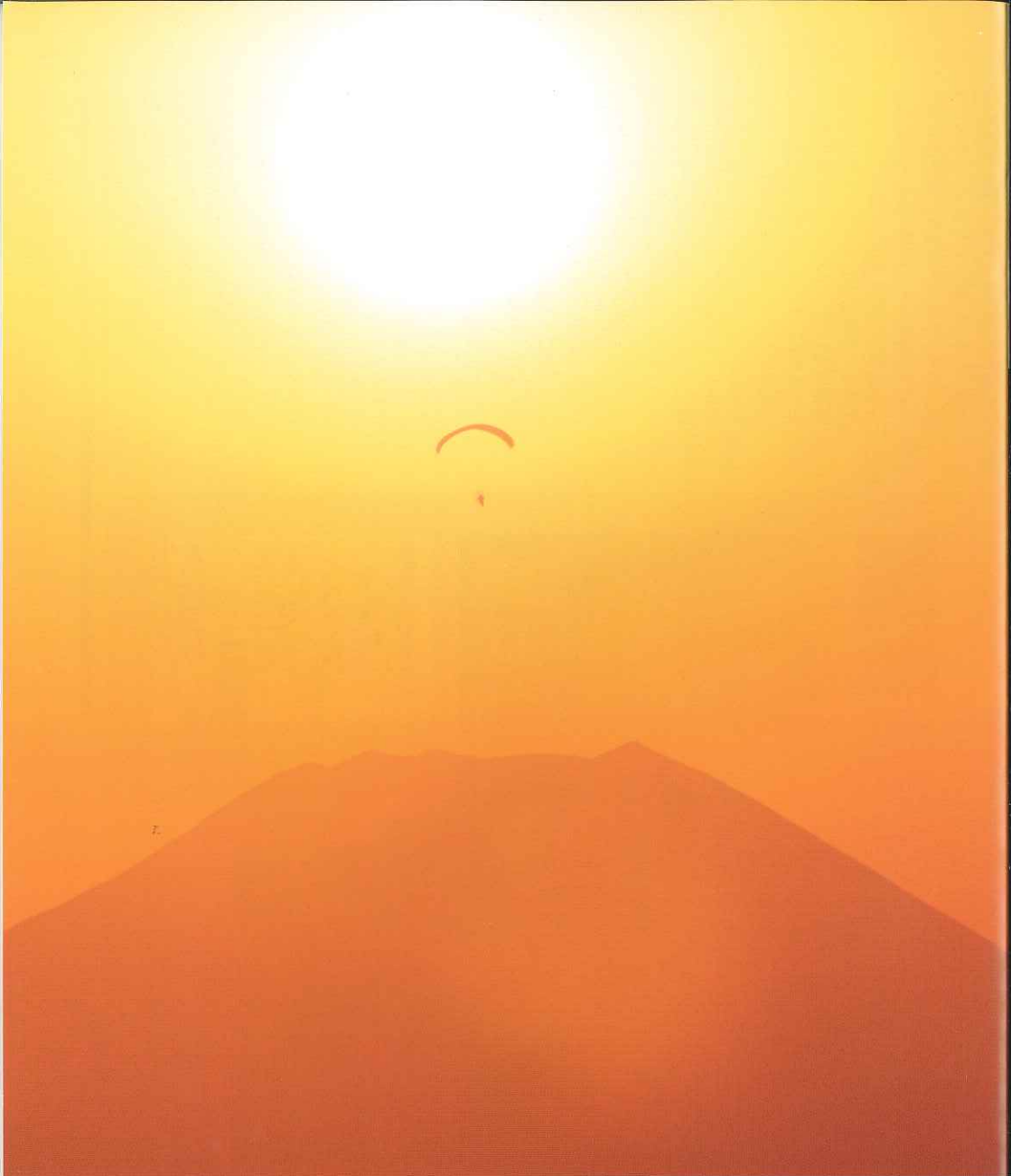
◆「えくてびあん」の意味をよく聞かれます。フランス語で「聞いて下さい」という意味です。先日こんなことがありました。読者の方からお電話で「どういう意味ですか?」スタッフが「フランス語でÉcoutez bien、聞いて下さいです。」すると電話の向こうに沈黙が。「……」スタッフが「もしも〜、もしも〜」。そうなんです。「聞いて下さい」と言ったので、聞いて下さっていたんですね。ありがとうございます。◆浅田次郎さんのインタビュー。原稿はもちろん手書きにさせていただきました。もったいなくも手書きで朱筆を入れて頂いて、戻って来た原稿はえくてびあんの宝です。◆手書きにしてみたら、おっしゃる通り、今まで見過ごしていたいろいろなことが見えてきました。言われてもやらなかったらわからなかったかもしれません。ありがたいお話でした。◆香港のジェシカさん、小説が本になったらまたえくてびあんでご紹介しませうね。◆こんな声、あんな声、立川を基点に各地に散らばるいろいろな声を集めて、みなさんに聞いてもらいたい「えくてびあん」です。

えくてびあん◎

5月号 第30巻 通巻330号

平成24年5月1日発行  
発行 有限会社えくてびあん  
〒190-0023  
東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F  
TEL 042-528-0082  
FAX 042-528-0065  
URL www.tamatabekonet.jp  
発行人 黒須 環  
企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ  
デザイン 池田隆男  
(WATER DESIGN ASSOCIATES)  
印刷 三浦印刷株式会社

無断転載を禁じます。



---

## ここから見える富士山 ④

MPG と富士

立川市緑町

---

まるで大きな花から飛ぶ孢子。立川ならではのモーターパラグライダー。

---

---